

青少年の災害に対する意識と防災行政の取り組み クロアチア国ザグレブ市 Awareness toward Disaster Risks of the Youth and the Government's Efforts - Zagreb, Croatia

木村 直子^{1*}, 山敷 庸亮¹, イビカキシッチ²
Naoko Kimura^{1*}, Yosuke Yamashiki¹, KISIC, Ivica²

¹ 京都大学防災研究所, ² ザグレブ大学農学部

¹Disaster Prevention Research Institute - Kyoto University, ²Faculty of Agriculture, University of Zagreb

本研究は、クロアチア共和国の首都ザグレブ市において行ったアンケート調査と半構造的インタビューを基に行って質的研究である。ザグレブでは1964年に巨大な洪水被害を経験している。その直後にクロアチア政府がインフラ整備を完了させて以来、目立った災害は無い。しかし近年になってザグレブ市では地震の発生とそれに付随する可能性のある災害（例えば、洪水や地すべり）について懸念し調査研究を行っている。政府は住民の災害リスク軽減に関する意識啓発に注目した活動も行っている。これらの活動が住民にどの程度認識されているのか、青少年層は周辺の環境や歴史的災害経験についてどのように見ているのか。本研究はアンケート調査を基にこれらの疑問への答えを探る。調査結果からは、1) 青少年層は災害発生時の行動について楽観的である、2) ほぼ70%が10年以内にザグレブで洪水があると考えているが、災害への備えがある率は低い、3) 政府によって出されている啓発の情報を知る者はほとんどいない、ということが見える。本研究は最後にコンピュータツールの利用と有用性について議論し、市民および青年層と行政の取り組みを結ぶ包括的なアプローチの活性化を提案する。

キーワード: 災害リスク軽減, 意識啓発, 青少年, 教育, クロアチア

Keywords: disaster risk reduction, awareness, youth, education, Croatia